



西江家住宅



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	にしえけじゅうたく
所在地	高梁市成羽町坂本
指定年月日	平成15年12月1日
解説	西江家は江戸時代大庄屋を務め、ベンガラの原料である緑礬[ろーは]の製造で巨財を蓄えた。幕末から明治初期にかけて現在の屋敷構えがほぼ整えられた。主屋は、宝永から正徳年間(1704～1716)ごろから建てられはじめ、間口27mに及ぶ大型の建物で、2階建て、赤褐色の石州瓦、漆喰塗、海鼠壁の対比により変化に富む華やかな外観を呈し、屋敷構えの中核を構成する。この他、資料館として有料公開されている穀蔵、その他の土蔵群や門、明治28年(1895)ごろの隠居座敷など、9棟が登録されている。高台に石垣を築き、壮麗な景観を形づくる豪壮な大庄屋住宅の建築。
アクセス方法	JR新見駅から車で約25分
公開状況	入館9:00～17:00, 入館料必要, 休館:1月・2月は不定休
設備	トイレ  駐車場 
備考	